



よむよむ

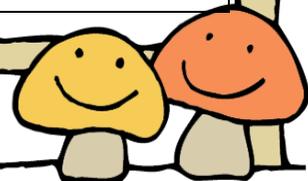
神川町立青柳小学校
2021. 9. 30
図書室便り No.8

9月3日までのクラス別読書冊数発表！

暑さも和らぎ、吹く風もさわやかに感じられる日が増えてきました。これから読書しやすい季節となります。10月12日からは、秋の読書月間も始まります。ぜひ、読書に親しんでください。

9月3日までの読書冊数調べを行いました。
各学年の平均冊数を発表します。

| 学年 | 冊数 |
|------|-----|
| 1年生 | 32冊 |
| 2年生 | 34冊 |
| 3年生 | 28冊 |
| 4年生 | 27冊 |
| 5年生 | 19冊 |
| 6年生 | 16冊 |
| なかよし | 32冊 |



4月から9月3日までに全校が読んだ本の冊数は、4696冊です。また、各学年で一番読書している児童の冊数は、1年生45冊、2年生64冊、3年生65冊、4年生123冊、5年生90冊、6年生39冊、なかよし44冊でした。なお、各クラスのベスト3の児童については、放送で発表し、よむよむ賞状を渡しました。みなさんも、次回発表されるように、たくさん本を読みましょう。

まだ、図書貸出カードが黄色のカードの児童は、ピンクカードになれるように頑張りましょう。



青柳小学校職員による おすすめの本の紹介



9月13日月曜日の昼の放送では、芳家先生のおすすめの本を紹介しました。

皆さん、こんにちは。今日は芳家先生のおすすめの物語を紹介します。その前に、皆さんはどうして蜘蛛が糸を作り出すのか知っていますか？それは蜘蛛の正体は実は織物が上手な女性で、神様の怒りを買った結果、姿を醜く変えられてしまったからです。今、えっ？と思った人、正解です。これは今回おすすめする物語の一つです。

今よりも昔々、まだ科学が発展していなかった頃、昔の人はまだわからなかった大自然の法則や、人間に訪れる予想もできない出来事について、こうじゃないかな、ああじゃないかなと考え、想像してみました。それらをまとめたものが今回おすすめする「神話」と呼ばれる物語です。今では宗教ではなくなった神話はただの読み物としてもとても面白いものになっています。

人は自分たちを見守ってくれるものが欲しかったので、いろいろなものを神様にしてお話を作りました。人は自分たちだけでは寂しかったので、自然や闇の中に妖精や小人を作り、お話にしました。人は自分たちだってすごいんだと誇りたかったので、英雄の話を作りました。どれもとても不思議に満ちていて面白い話ばかりです。

現代の人なら鼻で笑う、もしくはびっくりするような想像力で編まれた物語たちは世界中に広まり、信仰されなくなって何千年とたった後でも、愛され続けています。愛されすぎてアニメ、漫画、ゲームなどで神話由来の名前がたくさん使われています。そういったものと結びつけながら読んでみるのも楽しみ方の一つだと思います。

神話には北欧神話、ケルト神話、日本神話などその地域によって様々な神話があり、どれもとても面白いです。ちなみに図書室にはギリシャ神話の本があります。夜空の星座にまつわるお話はギリシャ神話でよむことができます。興味があれば借りてみてください。

